

平成22年 市職員への年頭訓示

みなさん、新年明けましておめでとうございます。

今年の元旦は、寒波の到来により寒かったものの好天に恵まれ、「初日の出」をご覧になった方も多かったのではないのでしょうか。

今年も皆さんと共に、健やかな新年を迎えられましたことを、大変嬉しく思っております。

合併後4年目を迎え、本市の人口は、合併時の66,490人から、早ければ今年中には7万人に達する予定であります。今後、木津川市が、ますます「住みたい 住み続けたいまちへ」と着実に発展を遂げてまいりますよう、より一層邁進してまいりたいと考えています。

さて、昨年を振り返りますと、新型インフルエンザが流行し、木津川市においても多くの学校が学級閉鎖になるなどの影響がありました。

また、世界的な金融危機による急速な景気の後退は、今も国民生活に暗い影を落とし、市民の皆様の中にも、不況の影響で苦しい生活をしておられる方もおられます。

本市におきましても長引く経済の低迷により、市の税収は更に落ち込むことが予想され、財政状況は厳しさを増してきております。職員の皆様におかれましては、今後もなお一層の事務事業の整理、合理化などにより、財政の健全化に努めることを念頭において、事務を進めていただきたいと思います。

昨年4月から試行を行ってまいりました毎週月曜日 午後7時までの本庁舎での窓口サービスの延長につきましては、検証を踏まえ、一部修正を行い、転入転出の最も多い3月23日から4月9日の間、平日は午後7時まで、また日曜日は午前9時から午後1時まで窓口業務の延長を実施し、市民サービスの充実に努めてまいりたいと考えております。

職員の皆様には、年度末の大変忙しい中とは思いますが、行政サービスのひとつとして、市民の皆様に対応していただきますようお願いいたします。

そしていよいよ、本年より、奈良において平城遷都 1300 年記念事業が始まりました。

木津川市も、豊かな観光資源を活用した様々なイベントを通して、全国の皆様に魅力あふれる木津川市を発信してまいりたいと考えております。

平成 22 年度は、私が、市政をお預かりしてから4年目を迎えます。

これまでの3年間、職員の皆様と一緒に、合併後のまちづくりに、全力を傾注して取り組んでまいりました。

合併前・後は、深夜にわたる事務処理が続き、新しい環境に慣れる暇もなく、疲労困憊の中で、皆さんと共に、今日まで無我夢中で走り続けて来た気がします。

そんな皆さんの頑張りが一つずつ実を結び、今日までに、木津川市の羅針盤となる木津川市総合計画をはじめそれぞれの分野において、目指すべき計画を策定することができました。

また、類団の1割減という限られた職員体制の中において通常業務を行うことに加えて、新たな事務の移譲が行われるなど、よく頑張ってくれたと感謝しています。

しかし、木津川市は、いよいよこれからが正念場です。

本来の合併を行った目的であります「子や孫の世代に持続可能なまち」を目指し、更なる行財政改革や、事務事業の見直しを行い、行政のスリム化を進める中で、市民の皆様の負託に応えていかななくてはなりません。

そのためにも同じ目標に向かって職員の皆さん一人一人が、自覚と責任を持ち、それぞれの部署で、それぞれの立場で、自分自身の目標を立て、計画的に職務を遂行することが、市の発展に繋がるものと確信しています。

年頭にあたり、改めて皆さんの一人一人が、市の将来と、市民の皆さんの幸せを担っていることを自覚し、こころ新たに、今年も力を合わせ、頑張ってもらいましょう。

最後になりましたが、今年も皆さんにとって、良い年でありますよう、そして木津川市の更なる飛躍を祈念いたしまして、年頭の訓示といたします。